

研究計画概要

助成年度・種別	2016年度 一般研究助成
研究代表者	吉田琢哉
所 属	岐阜聖徳学園大学
研究テーマ	保護者同士のコミュニケーション構造が安全な教育環境に資するプロセスの検討
研究計画概要	<p>教育を受ける子どもが、いじめや暴力などの問題行動による苦痛を受けずに暮らすことのできる「安全な教育環境」の整備が急務となっている。本研究では、安全な教育環境をうながす要因として、保護者同士の間で行われるコミュニケーションと保護者による地域住民としての役割行動に注目する。コミュニケーションに関する心理学的な知見を踏まえると、保護者が学校と一体となって子育てに取り組む「チーム」としての感覚を持つことで、安全な教育環境に資することが見込まれる。研究1では、保護者や教師を対象とした調査を通して、学校との連携を円滑にする保護者同士のコミュニケーションのあり方を検討する。研究2では、研究1を土台に、多様な規模の小学校や中学校にて児童・生徒とその保護者、および教員を対象に質問紙調査を実施する。そして、保護者同士のコミュニケーションが充実することで、自身の子ども以外の児童・生徒にも目配りができるような地域住民としての役割行動がうながされ、安全な教育環境に資するという理論モデルについて検討する。本研究の結果を踏まえ、教育的施策に対して、心理学的理論と実証的根拠に基づいた提言を試みる。</p>
選考委員からのコメント	<p>本研究は、安全な教育環境の構築のためにいかに保護者の持つ力を効率的に活用できるかといった問題意識から出発している。従来の事例研究などの欠陥を補うべく実証的な調査研究であり、研究成果に期待が持てる。</p>